



浜松市

平成23年8月発行 第9号

# 精神保健福祉センターだより

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目12番1号 静岡県浜松総合庁舎4階  
TEL : 053-457-2709 FAX : 053-457-2645 浜松市HP : <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

## CONTENTS

浜松市の自殺対策事業	1	多くの力が集まって
いのちをつなぐ手紙 - 未来へのメッセージ		私たちからの未来へのメッセージ
市長、実行委員長あいさつ	2	平成22年度事業報告
葉っぱのフレディとは?	3	8

## 浜松市の自殺対策事業

全国における自殺者数は、13年連続で3万人を超えております。浜松市でも100人以上の方が自死されているという状況です。自殺の背景には、経済・生活問題や精神疾患等様々な要因が複雑に関連しており、その対策には、様々な分野の人々や組織が密接に連携して、包括的な取り組みを実施することが必要です。そこで、浜松市では平成22年度から、司法書士、弁護士、精神保健福祉士、医師等による「自殺対策地域連携プロジェクト」を発足し、多重債務などによる自殺のハイリスク者への支援を進めています。

一般的に中高年層に多いとされる自殺ですが、本市では若年層の自殺も全国平均を上まわっている状況です。そこで、昨年度は若者から多大な支持を得ているモデルの梅田直樹さんのトークイベントや若者のこころの問題に向き合ってきた「夜回り先生」こと水谷修さんの講演会を開催し、若者達にも「いのちの大切さ」を伝えてきました。

また、この地域固有の課題として、中山間地域に暮らす高齢者や障がいを抱える人の社会的な孤立については、精神科医師や地域の保健師などと連携を図りながら、精神保健福祉士による訪問活動を始めています。

今回は、将来を担う子供たちに「いのちの大切さ」を伝えることを目的に、自殺対策推進事業「いのちをつなぐ手紙～未来へのメッセージ～」と題し、ミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅～」の公演を開催することになりました。

市では、子どもから大人まで、そして浜松に住むすべての人々に、こうした事業を通して、「いのちの大切さ」についてメッセージを送り続けていきたいと考えます。



自殺対策地域連携プロジェクト研修の様子

### 自死でご家族を亡くされた方の特定相談

浜松市精神保健福祉センターでは、自死でご家族を亡くされた方の相談を受けています。

●相談日時：毎週火曜日の午後

### 自死遺族わかちあいの会

ご遺族のこころのケアのための相談や、同じ立場の方が集まって話ができる「自死遺族わかちあいの会」を行っています。

●開催日時：奇数月第3土曜日14時から

お問い合わせ  
浜松市精神保健福祉センター



☎053-457-2709

# いのちをつなぐ手紙 ～未来へのメッセージ～

## 市長あいさつ

浜松市長 鈴木康友

浜松市では、平成21年3月に「浜松市自殺対策推進計画」を策定し、自殺をめぐる現状と課題を明らかにする中で、市民一人ひとりが、健康で幸せな生活を送り、周りの人への気づきと見守りを行うことにより、自殺者が減少する社会の実現を目指しています。

全国では、13年連続で自殺者数は3万人を下回らず、また、東日本大震災では多くの「いのち」が失われた経験から、「いのちを守る」ための地域力が、今の日本に求められています。

こうした中、本市では、市民の皆様と「いのちの大切さ」を考え、地域全体で、明日からの行動につなげていくために、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生企画・原案の「いのち」をテーマにしたミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅」の公演を行うこととなりました。

日野原先生は本市と同じく今年100歳を迎えられますが、長年医師として数多くの「いのち」と向き合い、また、困難な時代を乗り越えていらっしゃる先生のメッセージを、本市の新しい100年に向けたメッセージとして、市民の皆さんとともに「こころ」に刻み、さらに、家庭、学校、地域などが連携し、「こころの健康」や「いのちを守る」ための地域づくりを推進してまいります。



## 実行委員長あいさつ

浜松医科大学 教授 森 則夫

「いのちをつなぐ手紙～未来へのメッセージ～」は、毎年9月と3月に「自殺対策 啓発事業」として実施している事業であります。

今回は、未来を担う子どもたちに、「いのちの大切さ」を伝えるため、アメリカの哲学者レオ・バスキア博士が、子どもたちのために書いた生涯でたった1冊の絵本「葉っぱのフレディー」を、聖路加国際病院理事長日野原重明先生が、ミュージカルに脚色した「葉っぱのフレディーいのちの旅」を公演します。

事業運営は、浜松市と協働で、地域で精神に障がいや疾患のある人を日ごろ支えている医療機関や学校、福祉機関の職員が法人の枠を超えて集結し、実行委員会を組織し、これまで準備を重ねてきました。

実行委員が抱いた共通の想いは、「誰もが精神障がいや精神疾患を正しく理解し、今後、さらに安心して暮らせる地域であって欲しい。」という願いでした。

こうした背景には、自殺者は、経済状況や雇用状況の悪化に伴い、減少傾向には至らず、また、精神疾患は、毎年確実に増加傾向にあるなど、現代社会において、いのちやこころの問題は、特定の人だけの問題ではなく、地域すべての人が自らの課題として考えることが必要だと認識するからです。

市民の「いのち」を守るためには、医師や関係機関だけではなく、地域全体で、悩みを抱えている人の「孤立を防ぐ」ための取り組みを進めていくことが必要であり、この事業をきっかけに、こうした取り組みが、市民に広がり、浜松市が「こころ」や「いのち」にやさしい都市として、今後、未来に発展することを願っています。



## 平成23年度 自殺対策事業 子どもや若者たちへのメッセージ

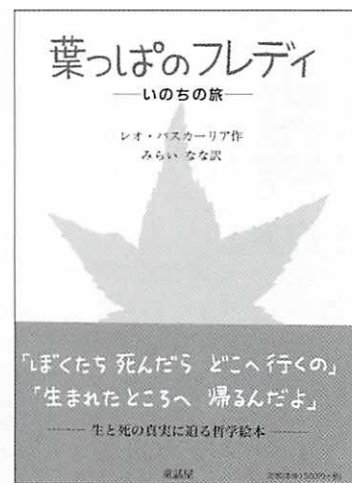
浜松市では子どもや若者に対しても自殺対策事業を進めています。「いのちをつなぐ手紙」事業では、毎年夏休みに市内の小学校5・6年生に「いのち」をテーマにした作文や絵画・ポスターを募集、月に2回市内のコミュニティFMでの放送やイベント等で紹介をしたり、小冊子を作成しています。また「子どものストレスマネジメント」事業では、市内の小学校4年生を対象に、「ストレスとその対処方法」について実践的に考えてもらうプログラムを学校に訪問し実践をしています。そして今回子どもたちや若者に向けたメッセージとして、ミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅」を上演することになりました。



今回、上演する「葉っぱのフレディ」は、アメリカの哲学者であるレオ・バスカーリアによる同名の絵本が原作です。日本では、みらいなさんの訳で出版され、110万部を超えるベストセラーとなりました。この作品は、アメリカのカリフォルニア大学で教鞭をとっていた作者が子供たちや若者などにむけて書いた唯一の絵本で、葉っぱの一生を通じて「いのち」は永遠に生きているというメッセージが込められたものです。

### 【原作】

春が来て、木々の梢に誕生した新しい葉っぱのフレディ。夏になり大きく成長したフレディは、多くの葉っぱに囲まれ、その中でどれも一つとして同じ形はないことに気づきます。そして同じ葉っぱの親友ダニエルらとの関わりを通して、自然の中で葉っぱとして木や他人のために役割を果たしてきたことを学びます。秋になり葉が色を変えるころになると仲間たちは次々に引越しを始め、フレディはそれを「死ぬこと」と捉えて恐れますが、ダニエルから世界は変化し続けること、死も変化することの一つであることを教えられる。「いのちは永遠に生きている」というメッセージが込められた作品です。



### 【ミュージカル】

ミュージカルの初演は2000年10月。聖路加国際病院理事長である日野原重明さんがミュージカル化を企画、原案、神奈川県知事の黒岩祐治さんが総合プロデュースをして上演、初演から12年間に全国で110ヶ所を超える公演を重ねてこられました。昨年の8月には、三日間に及びニューヨーク公演を行い、感動の拍手の中成功をおさめた作品です。

日時：平成23年8月29日（月） 午後6時開演  
会場：アクトシティ浜松 大ホール  
企画・原案：日野原 重明（聖路加国際病院理事長）  
総合プロデュース：黒岩 祐治（神奈川県知事）  
出演：宝田 明 ほか



23の  
ほっとライン

悩みごとがある



誰かに聞いてもらえたら



こころのほっとラインに電話をしたら少し楽になった

相談専用番号

**053-457-2195**

月～金  
午前8時30分～午後4時

（祝日・年末年始を除く）

# 多くの力が集まって ～私たちからの未来へのメッセージ～

「いのちをつなぐ手紙～未来へのメッセージ～」では、ミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」上演をはじめ、交流イベント「絆～きつと ずっと なかま～」を同時開催。この事業に向けて、浜松市内の医療機関や社会福祉施設、当事者団体や学校などに多くのご協力をいただきました。

中でも今回は地域の精神保健福祉を支える“人”たちを集まっていただき、企画検討委員会を結成。この事業について3つの作業グループに分かれて準備をしました。また当事者やボランティア団体、その他関係機関のメンバーを加えて実行委員会を組織し、人と人とのつながりをもって、まさに市民協働で創り上げました。

今回の事業にご協力いただいた様々な団体より、未来へのメッセージを寄せていただきました。一人でも多くの方にメッセージが届くこと、そしていのちの大切さをこれからも伝えることができたらと思います。

この事業に協力  
いただいた方々の  
メッセージじゃ



©浜松市

出世大名 家康くん

## 国立大学法人 浜松医科大学

**所在地** 〒431-3192 東区半田山一丁目20番1号  
**連絡先** TEL 053-435-2111(代表)  
**HPアドレス** <http://www.hama-med.ac.jp/>

### 事業内容

医学科と看護学科を有する単科大学。  
医療人の養成、研究及び診療を行っています。

### 未来へのメッセージ

臨床研修病院として地域の中核的役割を担い、県内に定着する医師を増やし、地域に貢献することを目指します。



## 聖隷クリストファー大学

**所在地** 〒433-8558 北区三方原町3453番地  
**連絡先** TEL 053-439-1400  
**HPアドレス** <http://www.seirei.ac.jp/>

### 事業内容

保健医療福祉の専門職業人を育成している大学です。  
「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」本学で学んだ学生たちが身に付ける建学の精神です。

### 未来へのメッセージ

本学を巣立った地域の保健医療福祉の専門職者たちは、皆さんのいのちや健康と福祉のために仕え、共に生きていきます。

## 医療法人社団 曙会 佐鳴湖病院

**所在地** 〒432-8021 中区佐鳴台六丁目3番18号  
**連絡先** TEL 053-447-1831  
**HPアドレス** <http://www.sanaruko.or.jp>

### 事業内容

病棟から見下ろす佐鳴湖の眺望は素晴らしく、その環境の中で患者さんは明日の社会復帰の為に入院生活を送っています。

### 未来へのメッセージ

一人でも多くの患者さんに社会復帰をしてもらいたいと考えています。



## 医療法人好生会 三方原病院

**所在地** 〒432-8063 南区小沢渡町2195番地の2  
**連絡先** TEL 053-448-0622(代)  
**HPアドレス** <http://www.k-mikatahara.or.jp>

### 事業内容

精神科病院として、患者様一人ひとりに最適な医療・福祉サービスを提供できるよう、また、一人でも多くの方が地域で生活していただけるよう、日々努力を続けています。

### 未来へのメッセージ

一人でも多くの皆さんが安心して地域で生活していただけるような未来を…。



## 医療法人社団 澤記念会 神経科浜松病院

**所在地** 〒432-8013 中区広沢二丁目56番1号

**連絡先** TEL 053-454-5361

**HPアドレス** <http://www.orange.ne.jp/~shinham>

### 事業内容

うつ病、双極性障害、統合失調症、認知症など精神疾患の治療や、それらの疾患・障害のための生きづらさを支えるお手伝いをするとともに、疾患、症状、障害やそれらのための社会資源などの情報提供を行っています。

### 未来へのメッセージ

みんな持つて大きな命

形はみんな違うけど、

みんな違って、それがいい。



医療法人社団 澤記念会

神経科浜松病院

## 医療法人社団 種光会 朝山病院

**所在地** 〒433-8104 北区東三方町476番地の1

**連絡先** TEL 053-420-1830

**HPアドレス** <http://www.myclinic.ne.jp/asayama/pc/frame.html>

### 事業内容

精神科病院で、地域に根ざした医療を目指しています。

### 未来へのメッセージ

一人一人がつながりをもてることが大切。

隣で悩んでいる人がいたら声をかけられる優しさや勇気をもてたいね。



医療法人社団 竹内会  
精神科 神経科

## 浜北病院

**所在地** 〒434-0042 浜北区小松3312番地

**連絡先** TEL 053-586-4558

**HPアドレス** <http://www.hamakita.or.jp>

### 事業内容

入院治療・通院治療に加え、精神科デイケア、デイナイトケア、精神科訪問看護等、地域生活の支援を行っています。

### 未来へのメッセージ

思い悩む前に、お気軽に病院にお越しください。



## 学生ボランティアネットワーク こねくとはあと

**連絡先** [c\\_heart21@hotmail.com](mailto:c_heart21@hotmail.com) (H23年度代表 杉保)

### 活動内容

浜松市内のボランティアを必要としている個人、団体とボランティアをしたい学生をつなぐ団体です。

### 未来へのメッセージ

私たち「こねくとはあと」は精神保健、その他福祉に関わる活動をボランティア派遣という形で応援します!!



## 公益財団法人 浜松国際交流協会

**所在地** 〒430-0926 中区砂山町324番地の8  
第一伊藤ビル9階 浜松市多文化共生センター

**連絡先** TEL 053-458-2170

**HPアドレス** <http://hi-hice.jp/hmc/index.php>

### 事業内容

多文化共生社会を目指し国際理解教育の推進や地域社会での交流・理解の場づくりの支援を行ったり、在住外国人のための多言語相談や情報提供を行っています。主に在住ブラジル人のためのメンタルヘルス相談をブラジル人の心理学専門家が行っています。

### 未来へのメッセージ

異なる文化を持つ人々どうしが外国人、日本人という区別ではなく、様々な個性を持った人間同士としてつきあい、誰もが生きやすい世の中にしていけたらと願って活動しています。

## 自死遺族わかちあいの会

**所在地** 〒430-0929 中区中央一丁目12番1号  
県浜松総合庁舎4階 浜松市精神保健福祉センター内

**連絡先** TEL 053-457-2709

### 事業内容

大切な方を自死(自殺)で亡くされた方が集い、思い、苦しみ、悲しみ、やりきれない思いなど…安心して表現できる場を提供し、自分ひとりではない、仲間存在に気づき、生きようという力を感じていく場を目指しています。

### 未来へのメッセージ

うれしい、幸せ、やさしい、仲間だもんね、ありがとう、あなたが大切な人…こんな人との関係が広がり、暖かな絆が広がりますように。

## 社会福祉法人 浜松いのちの電話

**所在地** 〒430-8691 浜松郵便局私書箱第125号  
**連絡先** TEL 053-471-9715  
**HPアドレス** <http://www2.wbs.ne.jp/~h-inochi/top.htm>

### 事業内容

多くの人々がさまざまな悩みを抱えてひとりで苦しんでいます。自殺や精神的危機に追い込まれている人に、再び生きる力を持てるよう電話を通して支援するボランティア活動(市民による市民のための活動)です。

### 未来へのメッセージ

自殺をなくし、一番大切な「生きる力」を育めるように「こころの支え」になっていきたい。



## 地域活動支援センター はまかせ

**所在地** 〒432-8063 南区小沢渡町2760番地  
**連絡先** TEL 053-415-0770  
**HPアドレス** <http://www4.tokai.or.jp/hamakaze>

### 事業内容

地域で生活する障がいのある方に対して、余暇活動やプログラム、他者との交流の場などを提供しています。

### 未来へのメッセージ

利用者の方だけでなく、家族、地域の方の身近な相談所です。今後も気軽にご利用頂ける場にしていきます。



## 浜松市ひきこもりサポートとコミュニティスペース事業 ほっこりスペースゆるっとこだま

**所在地** 〒432-8011 中区城北一丁目8番1号 Uホール  
**連絡先** TEL 053-522-8744  
**メール** [u-kodama@pearl.ocn.ne.jp](mailto:u-kodama@pearl.ocn.ne.jp)

### 事業内容

ひきこもりからの回復過程にある方と昼食・おやつ作り、散歩、社会見学等。ゆるっと過ごせる居場所の提供をしています。

### 未来へのメッセージ

『ひとりの思いがみんなにこだまする。みんなの思いがひとりにこだまする。』  
ゆったり自分のペースで…



## だんだん 援護寮、地域活動支援センター、ワーク、 就業・生活支援センター、相談支援事業

**所在地** 〒433-8101 北区三幸町201番地の4  
**連絡先** TEL 053-420-0802  
**HPアドレス** <http://www.dada.or.jp/>

### 事業内容

精神障がいをお持ちの方が、地域で生活していけるように…就職できるように…色々相談にのりながら、支援をしています!!

### 未来へのメッセージ

明るい未来に向かって、  
一歩ずつ進んでいこう!!  
合言葉は、「ゆっくりと!  
だんだんと!!」



## 浜松市動物園

**所在地** 〒431-1209 西区館山寺町199番地  
**連絡先** TEL 053-487-1122  
**HPアドレス** <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamazoo/>  
**事業内容**

浜松市立の動物園で、116種381点(ほ乳類:59種197点 鳥類:57種184点)の展示動物がいます。特にゴールデンライオンタマリンは、日本国内では当園のみで飼育展示しています。また、地球の生命(いのち)の大切さ等について子どもから大人まで広く伝える「いのちの教育事業」を行っています。

### 未来へのメッセージ

動物を通し生命(いのち)の尊さ、進化の不思議を考える機会や人と動物の関係から環境について考えるきっかけを提供していきたい。



## 迷えるひつじの会

**所在地** 〒433-8558 北区三方原町3453番地  
大場研究室内  
**連絡先** TEL 053-439-3186

### 活動内容

社会福祉士・精神保健福祉士目指して日々学び、考え、語り、そして迷い続けているサークルです。

### 未来へのメッセージ

誰もが自分らしく、誇りを持って暮らしていける社会を!!



## ゆきかき

**所在地** 〒430-0929 中区中央一丁目12番1号  
県浜松総合庁舎4階 浜松市精神保健福祉センター内  
**連絡先** TEL 053-457-2709

### 活動内容

月2回午後の2時間、みんなで話をしたり、ゲームをしたり、時には調理や社会見学にも出かけて、みんなで様々な体験をしています。

### 未来へのメッセージ

ひとりだと思っても必ず誰かが  
いるんだよ。ひとりじゃない。  
みんなでつながろう。



## G-hand

**所在地** 〒430-0929 中区中央一丁目12番1号  
県浜松総合庁舎4階 浜松市精神保健福祉センター内  
**連絡先** TEL 090-4111-1830(代表:中村)

### 活動内容

精神保健福祉ボランティア養成講座の卒業生の団体です。現在は、NPOやセンター、各自のボランティア関係より依頼があった所へ出かけたり、交流会で参加者同士の情報交換をしています。

### 未来へのメッセージ

知ろう…精神保健福祉についての理解の啓発  
出会おう…当事者とともにイベント交流の企画  
つながろう…各NPO施設との連携サポート

## NPO法人 遠州精神保健福祉をすすめる市民の会

**所在地** 〒430-0901 中区曳馬二丁目8番19号  
**連絡先** TEL 053-461-6045

### 事業内容

様々なこころの不調を抱えた方々が、地域で安心して生活ができるよう専門職やボランティア、当事者などいろいろな立場の人たちが協力して、ボランティア活動や交流会、啓発事業を行っています。また、相談支援事業、交流スペース、若者サポートステーションを実施し、障害者やひきこもりの方、就労していない若者への支援を行っています。

### 未来へのメッセージ

それぞれが自分や相手の弱い部分を認め合い、助け合って生きていける社会をつくりましょう。子どもや若者がこころ豊かに笑顔でいられますように。

## てくてく

**連絡先** TEL 090-1416-6224(代表:山本)

### 活動内容

ひきこもり当事者とその家族の為の研修会及び相互互助を中心に回復に向けての環境の準備を検討中です。

### 未来へのメッセージ

「ひきこもり」という  
呼び名を変えたい。  
精神的な困難さに  
遭遇し、立ち止まっ  
た人と呼びたい。



## NPO法人 ドムクス

**所在地** 〒410-2201 伊豆の国市古奈536-5  
**連絡先** TEL 055-947-2688  
**HPアドレス** <http://dmcs-sizuoka.com/>

### 事業内容

薬物依存者を抱える家族への相談援助と会員相互の交流(毎月第1土曜日 19:00~21:00)、精神保健福祉センターでの「薬物相談」、保護観察所でご家族のための「家族教室」「相談」、各学校の「薬学講座」等薬物乱用防止活動をしています。

### 未来へのメッセージ

薬物依存症者は生きづらさを抱え、たまたま薬と出会い依存症となりました。世の中は生きづらさを増しています。今一度、私達の生き方を見つめ直し、お互いが生きている喜びを感じることができるように、手を取り合って前に進みましょう。

## ひきこもり相談窓口

**場 所** 浜松市精神保健福祉センター  
(県浜松総合庁舎4階)

**対 象** ひきこもりの方とご家族  
**内 容** ひきこもり本人、家族からの電話・来所による相談を実施します。ひきこもりの方の気持ちを大切に、必要に応じて専門スタッフによる訪問による相談も実施します。関係機関の連携により医療・保健・福祉・教育・労働等の適切な関係機関へつなげます。

**相談日** 毎週木曜日午前(予約制)

浜松市ひきこもり地域支援センター  
**053-457-2709**

# 平成22年度 事業報告

## 1 家族教室

精神障がいがある人の家族の方に対し、精神疾患の理解や家族の役割について考えるための教室を開催。

統合失調症	①5月～7月	精神保健福祉センター	②10月～12月	浜北区役所
アルコール・薬物依存	7月～9月	精神保健福祉センター		
うつ病	①5月～7月	精神保健福祉センター	②10月～12月	浜北区役所
摂食障害	11月～1月	精神保健福祉センター		

## 2 ひきこもり家族教室 4回1コース 精神保健福祉センター

ひきこもりの方を家族の方を対象に、ひきこもりに関する知識や情報を知り、本人への関わり方を考えるための教室です。ひきこもりの当事者や家族の方にも講師として参加していただきました。

## 3 ひきこもり地域支援センター

ひきこもり地域支援センターを開設し、特定相談の中で可能なケースについては訪問支援も行いました。支援により外に出られたひきこもり当事者の居場所として当事者グループゆきかきを開催。16名の当事者の方が参加され様々な活動をしています。

## 4 ひきこもり地域コミュニティスペースの開設

自宅から外出できるようになったひきこもり回復途上者の日中の居場所として、ひきこもり地域コミュニティスペース事業として民間事業者に委託。「ほっこりスペースゆるっとこだま」を開設しました。

## 5 外国人のメンタルヘルス相談窓口の開設

市内に多く居住する外国人のメンタルヘルスについて、母国語で相談できる窓口を（公財）浜松国際交流協会(HICE)内に開設。専門の相談員を配置し、多くの方が利用をされました。

## 6 こころの健康づくり講演会 市民向けの講演会を開催しました。

「いのちをつなぐ講演会ー私が『いのち』にこだわるわけー」

平成22年9月12日（日） アクトシティコンgresセンター

講師：黒岩 祐治さん（元フジテレビキャスター）

「若者を対象とした自殺対策講演会ーこころを傷つけるいじめを僕は絶対許さないー」

平成23年3月6日（日） イオン浜松市野ショッピングセンター

講師：梅田 直樹さん（モデル）

「いのちをつなぐ講演会ー子どもたちへ 夜回り先生からのメッセージー」

平成23年3月21日（月・祝） 浜北文化センター

講師：水谷 修さん（教育評論家）

「ひきこもり講演会ー現代を生きる若者たちの姿を探るー」

平成23年3月27日（日） なゆた浜北 大会議室

講師：雨宮 処凛さん（作家）

## 7 精神障がいを理解するための研修会

統合失調症、うつ、認知症などをテーマに、区役所職員や医療職、介護職、福祉職などに携わっている方を対象として、精神疾患や障がいのある人への支援についての講義を通じて、学習し理解を深めていただきました。新任職員を対象とした「基礎研修」・「フォローアップ研修」や「カウンセリング講座」などの特別講座も開催しました。テーマ別研修では、「摂食障害」や「アルコール依存症」など関心の高いテーマについて理解を深めました。

## 8 精神保健福祉ボランティア養成講座 10回1コース

精神保健福祉ボランティアとして活動するために必要な基礎的知識を習得し、実際に活動の場を見学、体験することで精神保健福祉分野のボランティアを養成することを目的に開催しました。

### ー 編集室の窓から ー

今回の精神保健福祉センターだよりは、「いのちをつなぐ手紙ー未来へのメッセージー」の開催に合わせた特別号です。いつもよりページも倍になり、たくさんの方のメッセージを込めて作りました。

手に取っていただいた方に浜松市の取り組みといのちの大切さが伝わることを願っています。